

修論発表会

日時：2025年1月27日（月曜日）14時から

場所：422教室 総合文化研究所（対面）

司会：久米順子、久野量一

プログラム

1：内藤奏汰 フェートの詩におけるハーフェズの影響

2：鈴木岳志 友愛の音楽「ショーロ」の物語

——ブラジルポピュラー音楽史に映るナショナリズムの影——

3：佐護愛

Ch. ロドイダンバ『清きタミル川』におけるポリフォニックな歴史観

4：田中真悠 村上春樹作品の重訳をめぐる考察

——ポストコロニアリズムと世界文学の観点から

=休憩10分=

5：大内祐佳

エドゥアール・ヴェイヤール絵画作品に描かれた縫う女性の表象

6：片貝里桜 後期ソヴィエト・現代ロシアの美術における「身体」

——イリーナ・ナーホヴァを中心に

7：遠藤真言 17世紀から19世紀までの楽譜における音楽用語表記の変遷

——楽譜出版をめぐる状況の変遷との関係性の考察

8：國分文音 ベル・エポックの書物芸術

——J.K.ユイスマンス『さかしま』百人愛書家協会版のテキスト・挿絵・造本

発表時間：15分 質疑応答：5分